

京都市の農林業

京都市では、市域面積の77%を農地と森林が占め、各地域によって気候風土が異なることから、古くから多種多様な農林産物が生産され、農林業が盛んに行われてきました。

市街地を囲む緑豊かな三山や、市街地内に多く残される農地は、京都市の自然環境を生かしたまちづくりに大きく貢献し、山紫水明の都を形成する礎となっています。

また、京北や北部山間地域を中心とする豊かな森林は、水源のかん養や保健文化機能等の公益的機能も有し、災害からまちを守り、訪れる人に深い精神的充足を与えています。



整然と立ち並ぶ北山杉

北山丸太は、その素材の緻密さ・滑らかさ・光沢から数寄屋建築の素材として用いられ、約600年の歴史の重みを持つ京都の伝統工芸品です。



京北地域

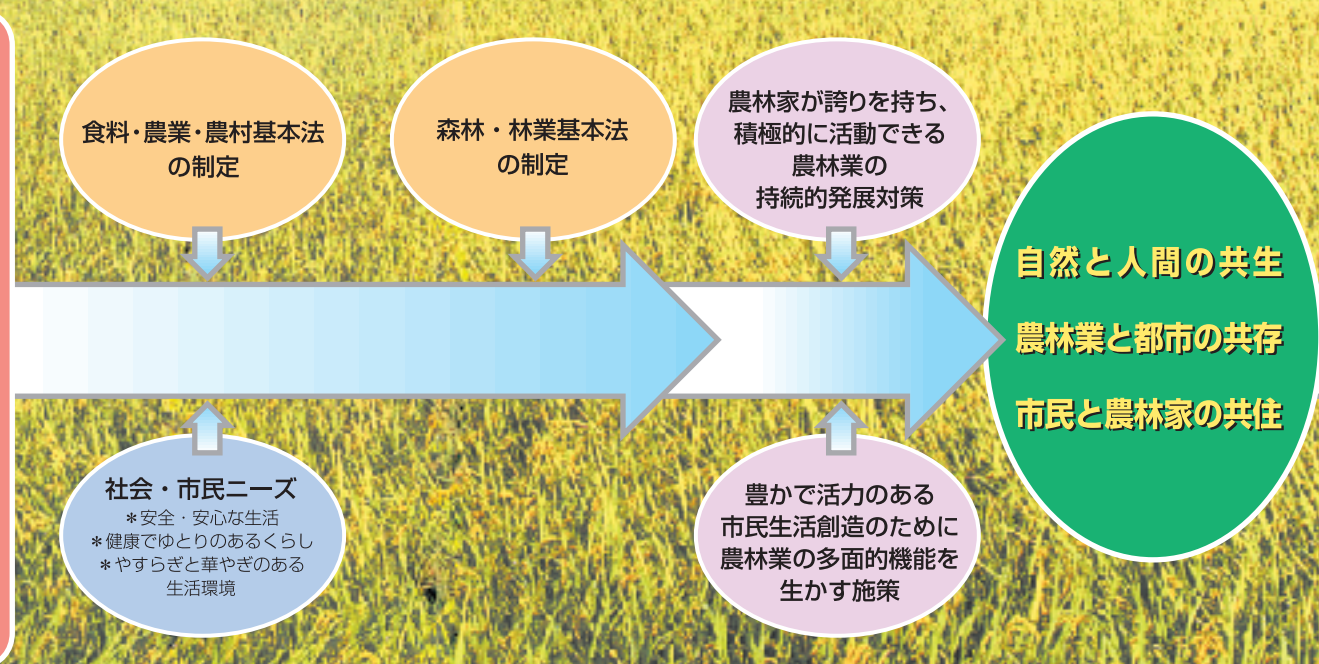
右京区京北地域は、桂川の源流に位置し、周囲を緑豊かな山々に囲まれ、田園風景が広がり、農山村における伝統・文化を多く残しています。



振り売り

農家が収穫したものを直接各家庭へ売りに回ります。大八車も現在は軽トラックに変わりつつあります。

京都市基本構想(京都市基本計画)



京都市農林行政の展開方向

- 環境に優しい農林業の持続的展開
 - 農林地の保全と農林業生産環境の整備
 - 活力ある農林業の推進
 - 環境に優しい農林業の推進
 - 多様な担い手の育成・確保
 - 市民生活に密着した農林産物の生産・流通体制の整備と需要拡大
- 農林業の持つ多面的機能を生かしたまちづくり・ひとづくり
 - 緑の景観を生かしたまちづくり
 - 農林業の有する防災機能を生かしたまちづくり
 - 農林業によるひとづくり
 - 医療・福祉分野への活用
 - 文化の継承と創造
- 市民と築く農林業(市民と農林家のパートナーシップ)
 - 都市と農山村の相互交流
 - 市民と農林業の触れ合いの促進
 - 地域住民と農林家の相互理解

目次	
1 京都市の農林業地域	3
2 主な農林業施策	5
3 グラフで見る京都市の農林業	11
4 京都市の農林業マップ	